

桜島の火山活動解説資料

福岡管区気象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方気象台

<火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続>

本日（3月12日）、15時07分に爆発的噴火が発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が2合目（昭和火口より2km付近）まで達しました。

このことから、本日15時35分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル3を切り替えました。

【防災上の警戒事項等】

昭和火口及び南岳山頂火口から2kmを超えた居住地域近くまでの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。

風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

○ 活動概況

・噴煙などの表面現象の状況（図1）

昭和火口では、本日（12日）15時07分に爆発的噴火¹⁾が発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が2合目（昭和火口より2km付近）まで達しました。

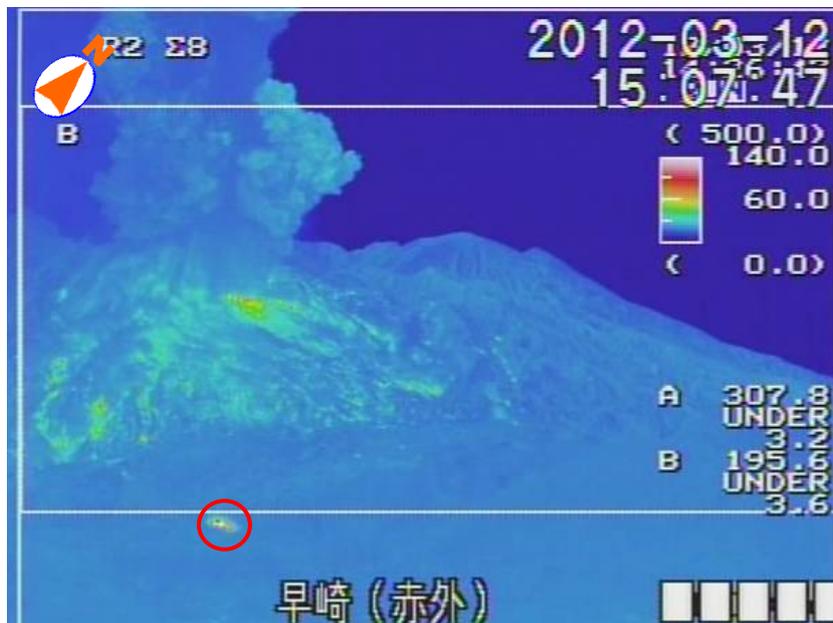


図1 桜島 12日15時07分の昭和火口の爆発的噴火の状況
（九州地方整備局大隅河川国道事務所の早崎カメラによる）
大きな噴石が2合目まで達しました。
赤丸が落下地点

1) 桜島では、爆発地震を伴い、爆発音、体感空振、噴石の火口外への飛散、または気象台や島内の空振計で一定基準以上の空振のいずれかを観測した場合に爆発的噴火としています。

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。
※この資料は気象庁のほか、九州地方整備局大隅河川国道事務所のデータも利用して作成しています。

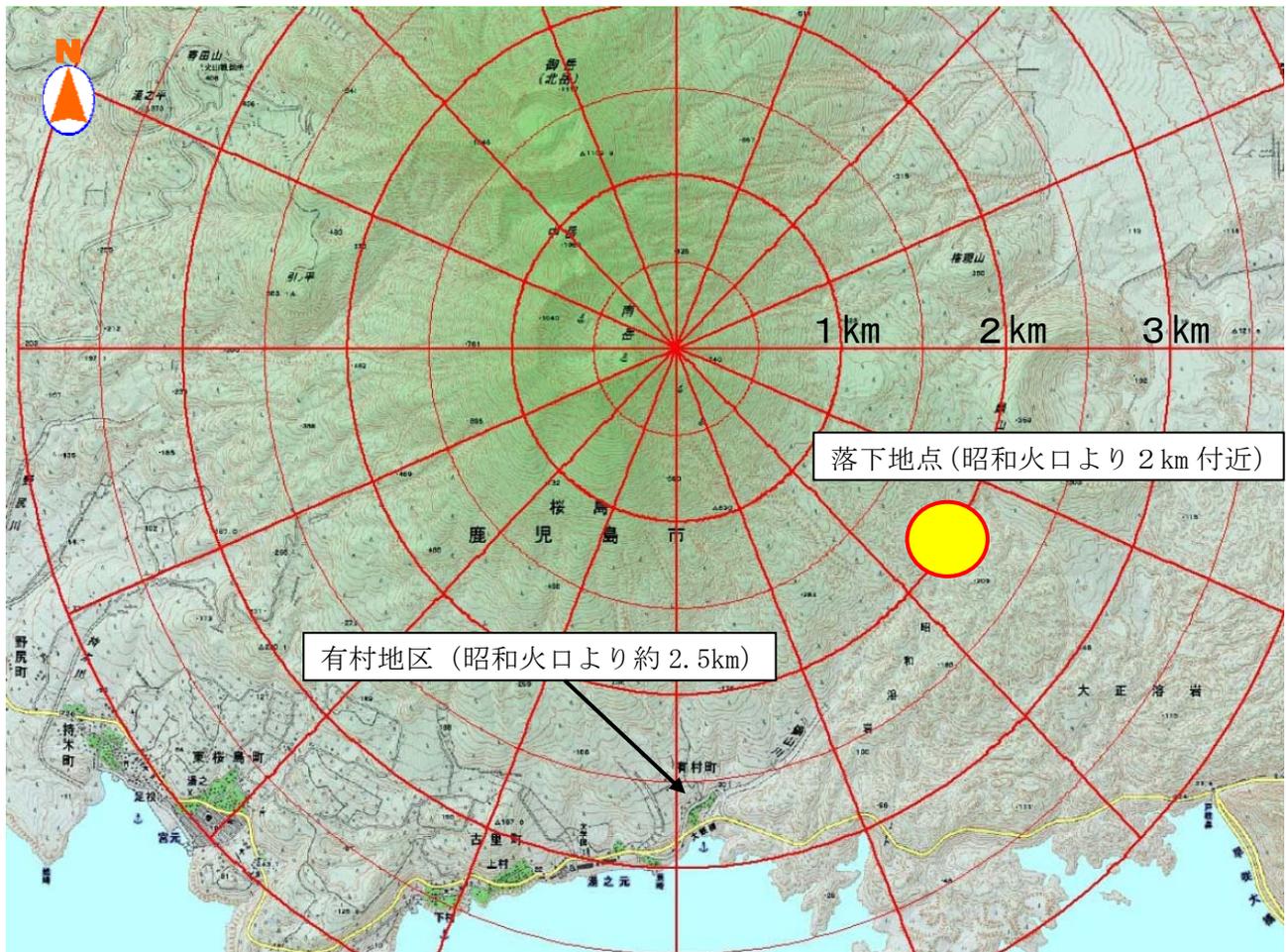


図2 桜島 12日15時07分の昭和火口の爆発的噴火による噴石落下地点
大きな噴石が2合目(昭和火口より2km付近)まで達しました。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000(地図画像)』及び『基盤地図情報(数値標高モデル)10mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号平23情使、第467号)。

* 3月12日15時07分の爆発的噴火に伴う噴石の落下地点を当初、昭和火口より2.4km付近としていましたが、その後、大隅河川国道事務所設置の監視カメラ画像による精査の結果、昭和火口より2km付近と判断しましたので、図2(噴石落下地点の図)を差し替えました(3月21日14時追記)。